国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令　和　7　年　7　月　3　1　日
（一財）3.11伝承ロード推進機構
東　北　地　方　整　備　局

『「震災伝承施設」深化の会』　開催のお知らせ

近年、自然災害が激甚化・頻発化する中で、「いのちを守る」行動を促す災害の自分事化が喫緊の課題となっており、災害伝承の役割はますます高くなっています。

このような背景を踏まえて、内閣府と国土交通省では地域において災害やその教訓をわかりやすく伝える活動を「NIPPON防災資産」と認定する制度を創出し、第1回認定がなされ「3.11伝承ロード」が優良認定の一つとして選定されました。

この優良認定を機に、災害の自分事化に貢献する、より深く高みを目指した伝承活動となる、震災伝承施設の本気の伝承活動を紹介する『「震災伝承施設」深化の会』を開催します。

タイトル：「震災伝承施設」深化の会

サブタイトル：～伝承活動による災害の自分事化に向けて～

熱心に伝承活動を展開している４施設から報告をしていただき、様々な角度からの伝承活動の本質を探ります。

【開催概要】

１．日　時：令和７年８月３０日（土）１３時００分～１５時３０分
２．場　所：東京臨海広域防災公園　「そなエリア東京」
　　２Ｆレクチャールーム
　　住所：東京都江東区有明3-8-35　TEL：03-3529-2180
３．内　容：震災伝承施設　活動報告
　　①いのちをつなぐ未来館（岩手県釜石市）
　　②東日本大震災津波伝承館（岩手県陸前高田市）
　　③気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館（宮城県気仙沼市）
　　④いわき震災伝承みらい館（福島県いわき市）
４．その他：会場参加者１００名定員
　　オンライン参加に定員はございません（別添チラシ参照）

発表記者会：宮城県政記者会、岩手県政記者クラブ、福島県政記者クラブ、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

〔問い合わせ〕
【「震災伝承施設」深化の会について】
一般財団法人3.11伝承ロード推進機構　原 田、石 森
TEL:022-393-4261
【３．１１伝承ロード全般について】
国土交通省　東北地方整備局　企画部　震災伝承推進官　熱 海（内線3119）
企画課課長補佐　山 内（内線3158）
TEL:022-225-2171（代表）









3.11 DENSHO ROAD

「震災伝承施設」深化の会

～伝承活動による災害の自分事化に向けて～

参加無料

近年、自然災害が激甚化・頻発化する中で、「いのちを守る」行動を促す災害の自分事化が喫緊の課題となっており、災害伝承の役割はますます高くなるとともに、震災の記憶や教訓を伝える震災伝承施設の期待も従前にも増して大きくなっています。

このような背景を踏まえて、内閣府と国土交通省では地域において災害やその教訓をわかりやすく伝える活動を「NIPPON防災資産」と認定する制度を創設し、第1回認定がなされ「3.11伝承ロード」が優良認定の一つとして選定されました。

この度の「優良認定」を機に、災害の自分事化に貢献する、より深く高みを目指した伝承活動となる、震災伝承施設の本気の伝承活動を紹介する『「震災伝承施設」深化の会』を開催することとしました。

首都圏初開催!!

日時 令和７年 **8月30日（土）** 13:00～15:30

会場 東京臨海広域防災公園「そなエリア東京」２Ｆ／レクチャールーム

オンライン同時配信

Google Map

参加申込み方法は裏面をご覧下さい

プログラム PROGRAM

開　会 13:00

■主催者挨拶

■来賓挨拶

活動報告 13:15

東日本大震災における伝承活動報告４施設

❶ **いのちをつなぐ未来館**（岩手県釜石市）
❷ **東日本大震災津波伝承館**（岩手県陸前高田市）
❸ **気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館**（宮城県気仙沼市）
❹ **いわき震災伝承みらい館**（福島県いわき市）

■進　行：東北大学災害科学国際研究所 准教授 …… 佐藤 翔輔 氏

■質問者：●全国地方新聞社連合会 副会長（岩手日報社 取締役執行役員東京支社長）…… 菅原 智広 氏

●東日本旅客鉄道株式会社 マーケティング本部 くらしづくり・地方創生部門 観光・地域活性化ユニット マネージャー… 引地 美香 氏

閉　会 15:30

主催 （一財）3.11伝承ロード推進機構　共催 国土交通省 東北地方整備局　岩手県　宮城県　福島県　後援 （一財）国土技術研究センター

問 TEL.022-393-4261　FAX.022-393-4271　（一財）3.11伝承ロード推進機構　〒980-0014　宮城県仙台市青葉区本町3-2-26　コンヤスビル3階

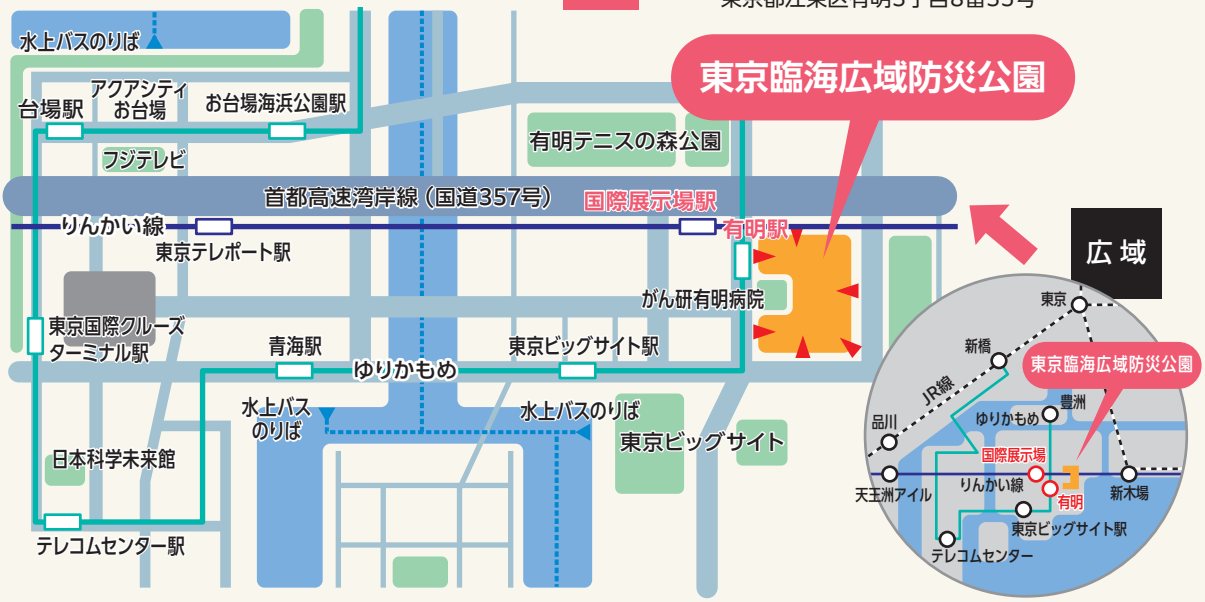
「震災伝承施設」深化の会

～伝承活動による災害の自分事化に向けて～

会場のご案内

会場 国営東京臨海広域防災公園

東京都江東区有明3丁目8番35号



【電車】東京臨海高速鉄道りんかい線「国際展示場」駅より　徒歩4分
ゆりかもめ東京臨海新交通臨海線「有明」駅より　徒歩2分

【バス】● 都バス 門19甲系統「がん研有明病院前」停留所より　徒歩2分
● 都バス 東16系統「有明二丁目前」停留所より　徒歩7分

申込み方法

【Googleフォームよる方法】

右記二次元コードよりアクセスの上、①氏名、②所属、③役職、④参加形態（会場参加 または オンライン参加）、⑤E-mail、⑥電話番号をご記入ください。

◆ 申込〆切 …… 8月 25日 (月) 17:00 ◆

※但し、会場参加は定員（100名）に達しましたら申込を締め切らせていただきます。

災害を「自分事」としてとらえるために

近年、首都圏直下型地震や南海トラフ地震への備えが問われる中、私たち一人ひとりが「災害を自分事としてとらえる力」を育むことが、命を守る第一歩となっています。

東日本大震災の被災地では、地域ごとに異なる被災の実態と向き合いながら、命を守る教訓を今に伝える「震災伝承施設®」が活動を続けています。

そうした施設の実践を紹介し、災害伝承の価値を深めていく場として、本イベント『「震災伝承施設」深化の会』を東京にて開催します。

「防災の意識を高めたいけど、何から始めたらいいかわからない」

「東日本大震災から学ぶべきことを、もう一度考えたい」

そんなあなたにこそ、ぜひ足を運んでほしい時間です。

【施設紹介】



いのちをつなぐ未来館

楽しく学べる体験型プログラムを通じて、震災の教訓を伝え、命を守る力を育んでいます。



東日本大震災津波伝承館

東日本大震災津波の事実と教訓を世界中の人々と共有し、自然災害に強い社会を一緒に実現することを目指します。



気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館

被災校舎の遺構と中高生も参加する語り部活動を通じて、災害を「自分事」として考える力を養っています。



いわき震災伝承みらい館

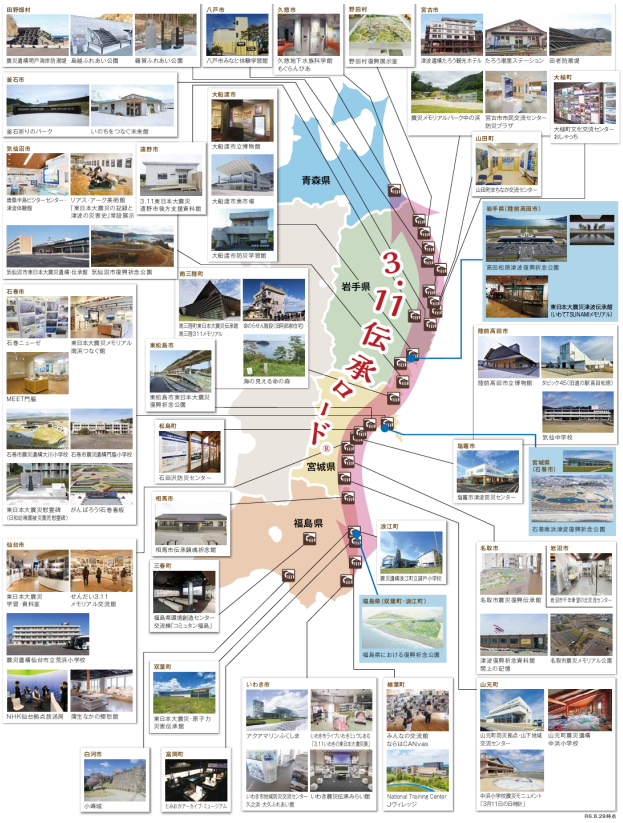
津波被災地に立地し、パネルや映像、被災した現物資料の展示や語り部講話などを通じて、震災の記憶や教訓を伝えています。

3．11伝承ロード

国土交通省

「3．11伝承ロード」とは

東日本大震災の被災地には、被害の実情や教訓を伝える「震災伝承施設」が数多くある。「3．11伝承ロード」とは、これらの施設をネットワーク化し、防災に関する「学び」や「備え」を国内外に発信することで震災を風化させず、後世に伝え続けていく取り組みのこと



（※主な震災伝承施設）

多様な方を誘う機会を創出

防災専門家、学術･研究機関、修学･学習、自治体関係者、業界関係者、一般の方など

目標

①防災力の向上（教訓の伝承）

②地域の活性化（学びの対流）

優良認定

NIPPON防災資産

3.11伝承ロード

一般財団法人　3．11伝承ロード推進機構

震災伝承ネットワーク協議会

令和6年9月5日にNIPPON防災資産に優良認定されました。

NIPPON防災資産「3．11伝承ロード」
→https://www.mlit.go.jp/river/bousai/bousai-shisan/jirei1_2.html

HPリンク

震災伝承ネットワーク協議会
→https://www.thr.mlit.go.jp/shinsaidensho/

一般財団法人　3．11伝承ロード
→https://www.311densho.or.jp/